



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
 ~あなたの悩み事は当社までご相談下さい~
 【今月の一冊】 経営を見る眼
 伊丹 敬之 著 東洋経済新報社
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2018年7月1日 Vol. 189
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 ライフコンサルタント 渡邊 敏 徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

さとり世代

「さとり世代」という言葉は、堅実で高望みをしない現代の若者気質を表す言葉で、インターネットの掲示板“2ちゃんねる”から生まれて広まりました。これは現代の若者気質から作られた言葉であり、2010年代に若年世代であった者たちが物欲にこだわる煩悩から解脱し、あたかも悟りを開いているかのように見えたところから生まれた言葉だと言われています。

「さとり世代」とは、バブル後の1990年代に生まれ、いわゆる「失われた10年」の間に幼少期を過ごした現在10代から20代前半までの若年層の世代とされます。そしてこの言葉は、2013年の「新語・流行語大賞」にもノミネートされました。

具体的な特徴として、「車やブランド品に興味がない」「欲がなく、ほどほどで満足する」「恋愛に淡泊」「海外旅行に関心が薄く、休日を自宅やその周辺で過ごすことを好む」「節約志向で無駄遣いはしないが、趣味にはお金を惜しまない」「様々な局面に合わせて友達を選び、気の合わない人とは付き合わない」などが挙げられます。

この世代は、高度成長期後のモノが十分に行き渡っていた時代に生まれ、物心ついたときにはバブルが崩壊し不況しか知らない。一方で、情報通信技術の進歩と共に当たり前のようにインターネットに触れてきた。このように成熟した時代に多くのネット情報に触れる中で、彼らは現実的な将来を見通して悟ったようになり、無駄な努力や衝突を避け、過度に期待したり夢を持ったりせず、浪費をしないで合理的に行動するようになったと見られています。

さとり世代には次のような9つの特徴があるそうです。

1. 情熱がない
2. 自然体でゴロゴロ
3. プロセスよりも結果
4. 恋愛に振り回されない
5. 目立つのは苦手
6. インターネットが当たり前
7. ブランドものにも興味がない
8. 誰とでも仲良くする
9. 努力は必ず報われる？

さとり世代の特徴を考えるととても驚いてしまうことも多いですが、非常に確実で合理的だとも言えます。インターネットの活用が当たり前で、生まれたときから身近でこれからの時代にマッチしたネット世代と言えるでしょう。就職氷河期を経験してきたため、努力は必ず報われるということに疑問を持っている世代ですが、独特の価値観を活かして次の時代を牽引して欲しいものです。



脳が輝く時？

以前雑誌に掲載されたエピソードが印象に残っているのでご紹介します。「山小屋エピソード」という冬山登山のお話です。このお話は、ノーベル賞候補にもなった脳科学者の故松本元先生のお話です。

冬山登山で猛吹雪に遭遇すると、登山者は山小屋を探し求め必死に避難しようとします。そして、何とか山小屋にたどり着きますが、多くの登山者が山小屋の目の前で亡くなっているのです。

このような現象は、人間の脳に特徴があると松本先生は言っています。山小屋を目の前にした時、目標を達成したと勘違いしてしまうというのです。つまり、山小屋を見て辿り着いて良かったと思い、ほっとして力尽きて亡くなってしまうそうです。ここで大切なことは、目標が達成できそうになったときに次の目標設定をすることだと松本先生は言っています。

山小屋に着いたら暖かい飲み物を飲む、家族を安心させるため電話をするなどなんでもいいので次の目標設定をすることが大切だと言っています。

人にとって大切なことは、目標に向かって行動している時だそうです。人の脳は目標に向かって行動している時が一番輝いていると松本先生は言っています。脳が輝く時、その人がいきいきと行動している瞬間なのだと思います。私たちは目標達成に向かって努力し続けることがとても重要ですね。



【座右の銘にしたい名言】



努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。

(井上 靖 / 作家、詩人)